

生活者の  
視点を大切に、  
国民の生活を  
守ります。

## ■第1回理事会・定時総会

平成24年度事業計画の概要、新規役員紹介

## ■清水会長記念講演会

生団連設立にかけた想い

『閉塞した日本を切り拓く!』

## ■定時総会記念パーティ

会場レポートなど

## ■活動報告

定例勉強会



# 第1回理事会

平成24年6月13日(水) 14:00～  
ホテルニューオータニ本館1階  
「PALAZZO」



総会での決議事項の確認、諸規程の決議、新規入会の審査が行われ、満場一致で承認されました。今回の新規入会の承認により、会員数は553法人となりました。



承認事項の確認のほか、出席者の方々による意見交換も行われました。



# 第1回定時総会及び第2回理事会

平成24年6月13日（水）15:00～  
ホテルニューオータニ本館1階  
「鳳凰の間」



約500名の会員の皆様にご出席いただき、平成23年度事業報告、平成23年度収支決算、役員改選、平成24年度事業計画（案）、平成24年度収支予算（案）についてお諮りし、すべての議案が原案の通り異議なく可決承認されました。

会員数の増加に伴い、新たに常務理事を設け、役員数を59名から81名に増強致しました。様々な業種・業界、企業・団体の皆様方からの意見を反映させつつ、生団連としての使命を果たすべく、力を結集させ、今後の事業に邁進してまいります。



会場には多くの会員の皆様が出席



ご出席いただいた役員の方々

# 平成24年度事業計画の概要

国任せ・政府任せではなく国民自らが課題に挑む組織として  
次の5つを中心とした“実戦と発信”を心がけた活動を展開します

## 大震災への備え

- 東日本大震災で被災者が困った点についての調査
- 防災グッズ備蓄の奨励
- 緊急時に生活必需品を手にする仕組みの研究
- 政府等に対する国民の生活、生命の保護に関する提言

## 節電・省エネへの取り組み

- 自治体、民間団体、産業界等との連携を視野に入れた国民主導の節電・省エネ研究

## 政府への意見発信

- 日本経済・社会を取り巻く閉塞感を取り除き、日本に活力を取り戻すべく、生活者視点での積極的で前向きな意見具申および発信の展開

## 会員サービスの充実

- セミナーの開催
- 当連合会の活動主旨と合致する会員の活動支援
- 会報誌の定期発行（年4回）
- ホームページ（HP）の開設

## 組織運営

- 会員相互の交流の支援
- 常務理事会等の運営体制の整備
- 積極的な広報活動による幅広い分野の会員獲得

# 新規役員を紹介

当日、ご出席いただいた新規役員8名のご紹介を致しました。



〈副会長〉  
日本百貨店協会  
会長  
茶村 俊一様



〈常務理事〉  
アサヒビール株式会社  
代表取締役社長  
小路 明善様



〈常務理事〉  
伊藤忠食品株式会社  
代表取締役社長執行役員  
濱口 泰三様



〈常務理事〉  
株式会社カスミ  
代表取締役会長  
小濱 裕正様



〈常務理事〉  
株式会社日本アクセス  
代表取締役社長  
田中 茂治様



〈常務理事〉  
三菱食品株式会社  
代表取締役社長  
井上 彪様



〈理事〉  
株式会社ヒューテックノオリン  
代表取締役社長  
松田 鞆夫様



〈参与〉  
東京経済大学  
理事  
小山 敬次郎様

# 清水信次会長 記念講演会

演題: 生団連設立にかけた想い『閉塞した日本を切り拓く!』



第1回定時総会に引き続き、16時から清水会長による記念講演会を開催。  
1時間を超える会長の熱弁に会場からは大きな拍手が巻き起こりました。

## 今こそ政治の流れを変えよう

昨今の日本の政情を見ていると、全体的に閉塞感を覚えます。一言で言いますと、国家に元気がないのです。2年9ヶ月前、選挙によって政権が自民党から民主党に移りました。国民は彼らに期待して政権を託したのです。しかし、これが残念ながら国民の期待に沿うどころか、むしろ逆行するような状況になっています。民主党議員は事あるごとに「政治主導」という言葉を叫びますが、そこには何の説得力もありません。これまで当選回数を重ね、議員として教育訓練をしっかりと受けてきた人が、知識と経験に基づき推進するのなら分かります。しかし、そのような背景がない今の40～50代の若い政治家が「脱官僚」などと言っているだけでも国を誤った方向に導いてしまうだけでしょう。とにかく今の政治は、後ろ向き、下向き、内向きのマイナス要素ばかりを重ねている印象です。消費税増税もそのひとつ。日本の5%という消費税率は、世界的に見ても最低水準であることは確かです。諸外国が消費税を10%以上に設定し、国の安定財源としている



ところを見るに、我が国も足並みを揃えることに対し、国民が理解を示す必要があるかもしれません。ただし、一時60兆円を超えていた税収も40兆円程度に落ち込んでいる今、急な増税は経済の足を引っ張る可能性が低くはないでしょう。この件について、私は野田総理や安住財務大臣とも直々に話しました。現状の施策は後ろ向きな決断の積み重ねのように映るので、増税を行うのであれば、政治の流れを変えた上で行うべきではないかと提言したのです。これは消費税問題に限らず、今日本が抱える諸問題に対しても、同様のアプローチが必要だと感じます。

## 日本が復活するための6つの施策

それでは国家の再建に必要な具体的な施策とは何なのか。私の構想は次の通りです。まずは、東日本大震災被災者への救済及び原子力発電所事故に対する補償を全額国庫負担とすること。そもそも、原発事業の賠償法では、巨大な天災や大きな社会変革によって損害が生じた場合、それを事業者の負担としないと免責事項に明記してあります。したがって瓦礫処理の問題も、法に則り、国が責任持って対処すべきなのです。にもかかわらず、それが実践されていない。そうなると、やはり今一度、エネルギー問題に関する大方針の策定が必要ではないでしょうか。大飯原発を再稼働するのならば、原発事故の補償は全額国が負担すると明言していただきたいものです。

次に必要なのは、国家主導による人材教育投資、技術革新への国家投資、資源確保への積極的投資、災害対策に必要な社会資本投資及び国民生活の継続・維持に対する国家支援、観光国家実現への投資という5項目です。たとえば、日本のように水道水がそのまま飲める国は世界で10カ国程度しかありません。その長所を海外へアピールし、観光に結びつけるなど、日本の優れた点をさらに伸ばすための施策に積極的な投資を進めていくべきではないでしょうか。これがGDP回復に伴う税収増加につながり、さらには国家の復活に寄与するのではないかと思います。ここに国家として200兆円の投資が必要だと考えます。国の借金が1,000兆円もあるのにとうろたえてはいけません。実は財務省があえて口にしないだけで、国には各種資産が700兆円程度あり、実質的な負債は300兆円程度。そのほか、不動産や社会資本もありますし、我が国の企業の資産も合計すると国富は莫大な数字に上ります。つまり、日本はそのうちギリシャのようになる、という言説はデマなのです。それだけの体力がありながら日本が閉塞しているのは政治決断のブレにあると言っても過言ではありません。政治家は後ろ向きな施策の提案を控え、今取り組むべき最重要課題と実施期間を決定し、その実現に向けた工程をしっかりと明示することから始めていただきたい。元来、日本は世界195カ国中、他に類を見ない素晴らしい国であり、国力のある国です。その所以は勤勉で礼儀正

しい国民性、また世界一優秀な官僚がいることに他なりません。永田町がまともれば、霞ヶ関もしっかりと機能する。今まさに、従来の豊かな日本を取り戻すべく、政・官・民が一体となった活動を展開すべきであり、私個人も日本チェーンストア協会をはじめとした各種会長職に就いている立場として、最後の奉公のつもりで国のために尽くしたいと考えています。



# 記念パーティ

平成24年6月13日(水) 17:30～  
ホテルニューオータニ本館1階  
「鶴の間」



ホテルニューオータニが誇る大型催事場「鶴の間」で行われた定時総会記念パーティ。広大な空間に、産業界、政界等から多数の関係者が訪れ、会場は熱気に包まれました。開会の挨拶は講演会に引き続き、清水会長。「日本の官僚は世界一優秀。政治家は国家百年の大計を立てて官僚に訴えかけ、彼らを動かしてほしい!」と熱弁すると、来賓挨拶を務める内閣府特命担当大臣・松原 仁氏は「一層我が国家のために働かなければならないと実感した」とご挨拶。その後、公明党代表・山口 那津男氏が「今こそ『日本が世界をリードしていくために必要なことは何か』という大きな視点が必要」と続き、最後は自由民主党副総裁・大島 理森氏が『『国民の声』の代表として、生団連には政治家に対し、日本が抱える諸問題についてご指導いただきたく存ずる」と締めくくりました。

その後、大木 美智子消費化学センター代表理事、阿南久全国消費者団体連絡会事務局長、谷茂岡正子東京都地域婦人団体連盟会長による盛大な乾杯の挨拶が行われ、歓談の時間に入った記念パーティ。清水会長は挨拶、記念撮影に大忙しながら笑顔が絶えない様子。他にも会場の至る所で、豪華料理に舌鼓を打ちながら、参加者が懇談する光景が見受けられました。所定の1時間半はすぐに訪れ、あっという間に閉会の時。大勢の出席者に惜しまれながら、パーティは幕を閉じました。



# パーティの様子



▲開会の挨拶で熱弁する清水会長



▲祝辞を述べる松原 仁様（内閣府特命担当大臣）



▲祝辞を述べる山口 那津男様（公明党代表）



▲祝辞を述べる大島 理森様（自由民主党副総裁）



▲1,000名を超える参加者による記念パーティ



▲多くの来賓の方々にお越しいただきました



▲豪華に彩られた場内



▲登壇者に喝采の拍手





▲副会長3名による盛大な乾杯の挨拶



▲賑わうパーティ会場



▲歓談風景



▲各所で見られた談話の様子



▲各所で行われた記念撮影



▲各所で見られる歓談風景

# 活動報告

## 定例勉強会

平成24年4月より、日韓協力委員会、国際経済研究所と共催で定例勉強会を開催しております。毎回、講師の先生をお招きし様々なテーマでご講演いただき、質問・疑問にお答えしております。

月	講師の先生方	テーマ
4月	中谷 元先生 (自民党衆議院議員)	「日本の安全保障と国際情勢」
5月	浜野 潤先生 (内閣府前事務次官)	「省庁再編の10年～官僚主導と政治主導」
6月	柿澤 未途先生 (みんなの党政調副会長)	「民主党・自民党・公明党主導の政局」
7月(予定)	鈴木 宗男先生 (新党大地代表)	「今後の政治状況」

毎月初旬に案内を送付しております。ご興味のある方は是非ご参加ください。



中谷 元先生



浜野 潤先生



柿澤 未途先生

## 家庭の節電行動2012説明会

平成24年7月3日(火) 12:00～  
生団連本部事務所 会議室

生活者の立場により近い消費者団体3団体と日本生活協同組合連合会の皆様にお集まりいただき、一般社団法人スマートプロジェクトが推進する「家庭の節電行動2012」説明会を開催し、各団体から、各々の会員の皆様へこの運動を広げていただくようご説明をいたしました。

「家庭の節電行動2012」とは、様々なインセンティブを設けて、国民一人一人が節電に対して積極的に行動するよう促進する取り組みです。生団連会員の皆様も国民一人一人のため、また日本全体のために、ちょっとお得に節電をしてみませんか？ 詳しくは「家庭の節電2012」ホームページをご覧ください。



一般社団法人スマートプロジェクト代表  
加藤 敏春氏



ご参加いただいた消費者団体、日生協の皆様



「家庭の節電行動2012」▶ <http://savepower.jp/kakeibo/index.php>  
生団連ホームページからもアクセスできます▶ <http://seidanren.jp>



# お知らせ

## 東京地婦連が平成24年度消費者支援功労者表彰 (内閣総理大臣表彰) を受賞

当連合会の副会長団体である、東京都地域婦人団体連盟（谷茂岡正子会長）が、都内の団体をリードし、消費者被害の未然防止・救済支援活動に取り組み、手口の巧妙化する悪質商法について、いち早く機関紙で注意喚起情報を載せていることや、消費者の声を代表する立場から活発に意見を述べていること等の活動が評価され、平成24年度消費者支援功労者総理大臣表彰を5月28日に受賞されました。表彰式は首相官邸で行われ、当日表彰を受けた団体・個人を代表して、谷茂岡正子会長が謝辞を述べられました。おめでとうございます。



会報誌を通じて会員の皆様にお知らせしたい事がございましたら是非お寄せください。  
詳しくは、生団連事務局までお問い合わせください。



### ロゴマークが完成しました。▶

当連合会の認知度向上を進めるため、ロゴマークを作成しました。生団連の文字を下部でつなげて生活者との連帯感を表し（＝生活者視点）、部分的に赤を用いて活動に対する熱意を示しています。こちらは当連合会のHPや封筒、各種資料等で順次活用していきます。

### ◀ ホームページが完成しました。

当連合会の活動や案内等、様々な情報を随時更新していきます。

<http://www.seidanren.jp>





国民生活産業・消費者団体連合会

---

発行:国民生活産業・消費者団体連合会  
発行日:2012年7月24日

**本部:**

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 3-6-2小津本館ビル7階 / 電話:(03) 3662-5240

**虎ノ門事務所:**

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-21-17虎ノ門NNビル11階 日本チェーンストア協会内  
電話:(03) 6268-8730 / FAX:(03) 5510-7522 / E-mail:jimu@seidanren.jp